

補助金評価シート

区分	重点・ <b>重点以外</b>	補助根拠	法令補助・ <b>その他補助</b>	開始時期	平成30年4月1日	終期	令和3年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟市地域コミュニティ協議会運営助成金 地域コミュニティの活性化と分権型協働都市の実現のため、地域コミュニティ協議会の運営に要する経費の一部を助成する。						
款・項・目	総務費 総務管理費 区政推進費						
所属等	東区 地域課 企画・地域振興グループ 内線 2120						

年度		平成30年度(1年目)	令和元年度(2年目)	令和2年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	12,400	12,400	12,400
	決算(千円)	12,130	12,382	12,400
補助率		10/10	10/10	10/10
目 標		地域コミュニティ協議会の安定した運営を図り、地域と行政が協働してまちづくりに取り組む環境を整備することを目的とする。 <目標が数値でない場合の評価方法> 決算書等により、当該補助金が地域コミュニティ協議会の運営に寄与したか、総合的に評価する。		
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	申請団体数：全12コミュニティ協議会  コミュニティ協議会の運営が安定することにより、自主的・主体的に地域課題が解決されており、コミュニティ活動の推進が図られていると思われる。	申請団体数：全12コミュニティ協議会  コミュニティ協議会の運営が安定することにより、自主的・主体的に地域課題が解決されており、コミュニティ活動の推進が図られていると思われる。	申請団体数：全12コミュニティ協議会  コミュニティ協議会の運営が安定することにより、自主的・主体的に地域課題が解決されており、コミュニティ活動の推進が図られていると思われる。
補助事業者による情報の公表		予算書、決算書、会報など		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	<input type="radio"/>	e. 指標の推移が維持・向上しているか	<input type="radio"/>
		b. 補助率は1/2以内か	<input checked="" type="radio"/>	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	<input type="radio"/>
		c. 補助額が5万円以上になっているか	<input type="radio"/>	g. 目標は数値化されているか	<input checked="" type="radio"/>
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	<input type="radio"/>	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	<input checked="" type="radio"/>
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 地域コミュニティ協議会は、補助金以外の収入が少なく財政基盤が弱いことから、安定した運営を確保するため補助率10/10での運営助成を行っている。今後、将来の自立に向けた基盤づくりに取り組む必要がある。				
	<g～hにおける取組> 多種多様の活動を行う地域コミュニティ協議会の安定した運営を目的としており、目標の数値化は困難であるが、引き続き当該補助金が地域コミュニティ協議会の運営にどの程度寄与したかを総合的に評価していく。				
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善(補助率, 補助額, 補助対象経費, その他) ② <b>継続</b> ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 平成30年度の「地域コミュニティ協議会への支援に関する評価会議」において、本補助金の今後の方向性について、現状維持と評価された。このことを踏まえつつ、地域独自の課題解決につながるよう、自立に向けた側面的支援を考慮しながら制度検討を行っていく。					